

平成30年度 シラバス

教科	国語	科目	国語総合	学年 学科 類型	1年 理数科・普通科
単位数	5	教科書	精選国語総合 (東京書籍)		
副教材等	精選国語総合 学習課題ノート (東京書籍)				

学習の目標	1 言語文化としての国語の持つ美しさや正しさについて認識し、その理解を深めます。 2 基礎的・基本的な知識・技能を活用して、課題を探究する国語力を身に付けます。 3 論理的思考力や想像力、的確な判断力・表現力を身に付け、伝え合う力を養います。
学習の方法	・現代文では、教科書の音読や漢字の読み書き、語句の意味調べをしましょう。学習に取り組みましょう。また、読書の習慣を身に付けて、社会や人間への探究心を持ちましょう。 ・古典では、音読の練習を繰り返し、辞書を引くことで語句の意味などを理解し、現代語訳ができるようにしていきます。予習は確実に行いましょう。 ・単元終了後は「整理と演習」などを活用して復習し、学習事項を確認しましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価				
			①	②	③	④	⑤
1 学期 中間	随想	<ul style="list-style-type: none"> 随想の基本的な読み方を習得します。 随想を読んで、筆者のものの見方や感じ方を理解します。 課題プリント、ノート、定期考査 	B	—	A	—	B
	古文・漢文	<ul style="list-style-type: none"> 古文と現代文との違いを知り、古文を読む基礎を学びます。 訓読のきまりを理解し、文章の内容を的確に読み取ります。 課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	B	A
1 学期 末	小説	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物・情景・心情などを表現に即して読み味わいます。特に、主人公の心理の変化について、展開に即して考えます。 課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A	B
	古文・漢文	<ul style="list-style-type: none"> 説話のおもしろさを味わい、古文の世界に親しみます。 格言や故事成語を読んで、漢文の世界に親しみます。 課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	B	A
2 学期 中間	評論	<ul style="list-style-type: none"> 評論の基本的な読み方を習得します。 具体例を丁寧に読み取りながら論理の展開を把握し、筆者の主張を的確に捉えます。 課題プリント、ノート、定期考査 	B	—	—	A	B
	古文・漢文	<ul style="list-style-type: none"> 古文に描かれた内容を、叙述に即して的確に読み取ります。 人間や人間関係を生き生きと描いた史伝の魅力を味わいます。 課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	A	—	—	B
2 学期 末	小説	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の心の動きに注意して、まとまった分量の小説を読み味わいます。 文体の特色や象徴的な表現の効果について考え、小説の鑑賞力を高めます。 課題プリント、ノート、定期考査 	B	—	—	A	B
	古文・漢文	<ul style="list-style-type: none"> 想像力を働かせながら、物語の世界を読み味わいましょう。また、随想から作者独自のものの見方考え方を発見します。 史伝の舞台となる戦国時代の状況について理解を深めます。 課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A	B
学 年 末	評論	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の提示する具体例を丁寧に読み取りながら、哲学・思想分野の評論に親しみます。 「豊かさ」とは何かについて、その考えの違いについて理解を深める。 課題プリント、ノート、定期考査 	B	—	—	A	B
	小説	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の心理や行動を的確に読み取り、作品の主題について考えを深めます。 課題プリント、ノート、定期考査 	B	—	—	A	B
	古文・漢文	<ul style="list-style-type: none"> 話の構成や展開を把握し、当時の社会や人々のありさまや心情を捉えます。 東洋の思想に大きな影響を及ぼした『論語』の思想に触れます。 課題プリント、ノート、定期考査 	B	—	—	A	B

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	世界史A	学年 学科 類型	1年 理数科・普通科
単位数	2	教科書	高等学校 改訂版 世界史A (第一学習社)、新詳高等地図 (帝国書院)		
副教材等	最新世界史図説 タペストリー 十六訂版 (帝国書院)				

学習の目標	1 近現代史を中心とする世界の歴史を、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解します。 2 現代の諸課題を歴史的観点から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養います。
学習の方法	・中学時代には学習していない項目が多数ありますので、授業に集中することが大切です。 ・家庭学習では復習に重点を置いてください。教科書とともに、授業中に指示された資料集の箇所は、家庭で熟読して理解を深めていくように心掛けてください。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1編 第1章 自然環境と歴史	・河川や海洋などの自然環境について地図や写真を活用しながら取り扱い、自然環境と人類の活動の関連について考えます。 ・ノート、白地図作業、定期考査	B	A	—	—
	第2編 第2章 結びつく世界と近世の日本	・世界的な規模の航海事業やグローバルな交易圏の成立を学び、世界の一体化がどのように進んでいったのかを考えます。 ・ノート、白地図作業、定期考査	B	B	B	A
1 学期 末	第3章 ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成	・生活・社会・経済の構造を大きく変化させた産業革命を取り扱い、自由主義と保守反動体制との対立を学習します。 ・ノート、定期考査	B	A	—	B
	第4章 アジア諸国の変貌と近代の日本	・アジアの諸地域の植民地・半植民地化の過程を、欧米諸国の工業化の進展と関連付けながら学習します。 ・ノート、白地図作業、定期考査	B	B	B	A
2 学期 中間	第3編 第1章 帝国主義の時代	・市場拡大を目的とした列強の清への進出を取り扱い、清の支配体制の動揺と列強進出に抗する民族運動について学びます。 ・ノート、課題プリント、定期考査	B	B	—	A
	第2章 急変する人類社会	・輸送・通信手段の発達と列強による世界政策との関連に着目しながら、マスメディアが及ぼす影響について考えます。 ・ノート、定期考査	B	B	—	A
2 学期 末	第3章 世界戦争と平和	・二つの世界大戦について、その背景や影響を、帝国主義や世界分割、民族運動を取り扱いながら学習します。 ・ノート、白地図作業、定期考査	B	A	B	B
	第4章 三つの世界と日本の動向	・アメリカとソ連を中心に世界が東西に分かれて「冷たい戦争」が出現した経緯を、日本の立場を踏まえながら学習します。 ・ノート、白地図作業、定期考査	A	B	—	B
3 学期	第4章 三つの世界と日本の動向	・第二次世界大戦後に独立した国々が直面した問題を取り扱い、アジア・アフリカ諸国の連帯について学びます。 ・ノート、課題プリント、定期考査	A	B	—	B
	第5章 地球社会への歩みと課題	・冷戦終結と多極化について学習し、現代社会における地球規模の課題について考えます。 ・ノート、定期考査	A	B	B	—
	第6章 持続可能な社会への展望	・世界の人々が共存し持続可能な社会を実現していくための方策を考え、人類の課題について歴史的な視点から探究します。 ・レポート	B	A	B	—

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	数 学	科 目	<small>数学Ⅰ・数学A 理数数学Ⅰ・理数数学特論</small>	学年 学科 類型	1年 理数科・普通科
単位数	6	教科書	改訂版 高等学校 数学Ⅰ (数研出版) ・ 改訂版 高等学校 数学A (数研出版)		
副教材等	改訂版 教科書傍用 クリアー 数学Ⅰ+A (数研出版)、改訂版 チャート式 解法と演習 数学Ⅰ+A (数研出版)				

学習の目標	数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間とのかかわりや、社会生活において数学が果たしている役割について理解し、数学に対する興味・関心を高めるとともに、数学を活用していく能力を身に付けます。
学習の方法	・教科書と並行して、教科書傍用問題集「クリアー」で演習を行います。予習・復習を徹底するとともに、疑問点の解消に向けて努力して下さい。 ・学習課題は必ず行い、提出物は期限までに必ず提出して下さい。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	数学Ⅰ 第1章 数と式 第1節 式の計算	・式の展開と因数分解について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	B	—	B	A
	第2節 実数	・数を実数まで拡張する意義を確認し、数の体系についての理解を深めます。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	B	B	A	—
	第3節 1次不等式	・身近な事象を1次不等式の問題に帰着させ、それを解く方法を学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	B	—	A	—
1 学期 末	数学Ⅰ 第2章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ	・2次関数のグラフの特徴について理解を深めます。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	B	—	—	A
	第2節 2次関数の値の変化	・グラフを用いて、2次関数の最大値や最小値を求める方法を学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	B	A	B	—
	第3節 2次方程式と2次不等式	・グラフを用いて、2次方程式や2次不等式の解の求め方を学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	B	A	—	B
	数学Ⅰ 第1章 数と式 第4節 集合と命題	・集合の考え方を必要条件、十分条件、対偶などを学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	B	—	A	B
2 学期 中間	数学A 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数	・順列や組合せの意味について理解し、それらの総数を求める方法を学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	B	—	A	—
	第2節 確率	・確率の意味を確認し、事象の確率を求める方法を学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	B	A	B	B
	数学Ⅰ 第3章 図形と計量 第1節 三角比	・三角比の意味と相互関係について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	B	A	B	—
	第2節 三角形への応用	・正弦定理や余弦定理を用いて、辺の長さや角の大きさの求め方を学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	B	—	—	A
2 学期 末	数学A 第2章 図形の性質 第1節 平面図形	・三角形、四角形、円に関する基本的な性質について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	B	—	B	A
	第2節 空間図形	・直線や平面の位置関係や、多面体に関する基本的な性質について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	B	A	B	—
	数学Ⅰ 第4章 データの分析	・データを整理・分析し、事象の傾向を把握する方法について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	B	A	B	B
3 学期	数学A 第3章 整数の性質 第1節 約数と倍数	・公約数、公倍数の求め方や、整数の性質について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	B	—	B	A
	第2節 ユークリッドの互除法	・ユークリッドの互除法の仕組みを理解し、それを活用する方法を学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	B	—	A	—
	第3節 整数の性質の活用	・二進法などの仕組みや整数の性質を事象の考察に活用する方法を学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	B	B	A	—

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	理科	科目	化学基礎	学年 学科 類型	1年 理数科・普通科
単位数	2	教科書	改訂版 化学基礎 (数研出版)		
副教材等	化学基礎・化学問題集2018、四訂版サイエンスビュー化学総合資料				

学習の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 身近な現象や身のまわりの物質から観察や実験を通して原理や法則を理解します。 2 実験や観察を通して、化学的な自然観を身に付けます。 3 化学的に考察する態度と能力を育成し、探求的学習を身に付けます。
学習の方法	<p>・この科目は化学における基礎的な内容を中心に学習します。私たちは非常に多くの物質に囲まれて生活しています。これらの物質の構成や性質を理解するだけでなく、どのように利用されているのかを考えながら学習していきます。</p>

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1章 物質の構成	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな物質を整理・分類し、共通した要素や個々の相違点を調べることで、物質の成り立ちを追究します。 ・授業プリント、定期考査、小テスト 	B	B	-	A
	第2章 物質の構成粒子	<ul style="list-style-type: none"> ・物質を理解する基礎として、物質を構成する基礎的な粒子である原子について学びます。 ・実験レポート、授業プリント、定期考査、小テスト 	B	B	A	B
1 学期 末	第3章 粒子の結合	<ul style="list-style-type: none"> ・中学での内容をさらに深め、粒子がどのように結合しているのかなど、物質の性質と関連についても学習します。 ・実験レポート、授業プリント、定期考査、課題プリント 	B	B	A	B
2 学期 中間	第1章 物質と化学反応式	<ul style="list-style-type: none"> ・原子・分子・イオンなどの質量や数、気体の体積との関係を学びます。また、物質量の考え方を身に付けます。 ・実験レポート、授業プリント、定期考査、小テスト 	B	B	-	A
	第2章 酸と塩基の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・酸性・塩基性の強さの表し方を学びます。中和により生じる塩の水溶液は必ずしも中性ではないことを理解します。 ・実験レポート、授業プリント、定期考査、小テスト 	B	B	B	A
2 学期 末	第3章 酸化還元反応①	<ul style="list-style-type: none"> ・酸化還元反応の定義を理解します。また、酸化剤や還元剤のはたらきや化学変化を化学反応式で表せるようにします。 ・実験レポート、授業プリント、定期考査、課題プリント 	B	A	B	B
3 学期	第3章 酸化還元反応②	<ul style="list-style-type: none"> ・イオンのなりやすさは、金属によって異なることを理解し、さまざまな物質から電池ができることを学びます。 ・実験レポート、授業プリント、定期考査、課題プリント 	B	B	B	A
	探究活動	<ul style="list-style-type: none"> ・実験上の注意・各試薬の調整方法・実験における基本操作などを学びます。化学的に探求する力を身に付けます。 ・実験レポート、授業プリント、定期考査 	B	B	A	B

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	理科	科目	生物基礎	学年 学科 類型	1年 理数科・普通科
単位数	2	教科書	改訂版 生物基礎 (数研出版)		
副教材等	ニューステージ新生物図表 (浜島書店) ・必修アクセス (浜島書店) ・生物基礎実験ノート・問題集2018 (愛媛県高等学校教育研究会理科部会)				

学習の目標	1 実験や観察を通して、生物におけるさまざまな基本的な生命現象について学びます。 2 実験や観察を通して実験方法や観察方法、考察の方法などの技術を習得し、自らが探究していく能力を高めます。
学習の方法	・教科書や資料集等を用いて、「生物」について幅広く学ぶ授業です。 ・「生命とは何か」、「生物の多様性と共通性は何か」などを、現代の生物学の手法や技術を学びながら理解していきます。具体的には実験・観察のほか、作業学習、探究活動などを行います。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1学期 中間	序章 生物基礎を学ぶにあたって	・生物基礎の内容の概要を把握し、顕微鏡の使い方を習得します。また、探究活動とは何かについて理解します。 ・実験ノート、授業ノート、課題プリント	B	—	A	B
	第1章 生物の特徴	・生物は多様であるが、細胞構造などをもつなど共通性があること、その共通性は共通の起源をもつこと由来することを学習します。 ・実験ノート、授業ノート、課題プリント、定期考査	B	B	A	B
1学期 末	第2章 遺伝子とそのはたらき	・酵素のはたらき、光合成と呼吸のはたらきを通して、生物がエネルギーを得ていることを学習します。 ・実験ノート、授業ノート、定期考査	B	A	B	B
	第2章 遺伝子とそのはたらき	・遺伝子の本体であるDNAについて、構造及び遺伝情報はその塩基配列にあることを理解します。 ・実験ノート、授業ノート、定期考査	B	—	B	A
2学期 中間	第2章 遺伝子とそのはたらき	・転写と翻訳の概要から、生命現象において重要なタンパク質合成について学習します。また、遺伝情報の複製についても学びます。 ・実験ノート、授業ノート、課題プリント、定期考査	B	B	A	B
	第3章 生物の体内環境	・体内環境がどのようにして一定に保たれるのか、体内でどのような調節が行われるかを学びます。循環系、腎臓と肝臓について学習します。 ・授業ノート、定期考査	B	B	—	A
2学期 末	第4章 植生の多様性と分布	・自律神経と内分泌系、免疫について詳しく学習します。免疫では、細菌やウイルスなどの病原体の攻撃を、どのように防御するか学びます。 ・授業ノート、課題プリント、定期考査	B	B	—	A
	第4章 植生の多様性と分布	・植生について、その構造や遷移とそのしくみについて学習します。森林・草原・荒原などの植生について理解を深めます。 ・実験プリント、授業ノート、課題プリント、定期考査	B	B	B	A
3学期	第4章 植生の多様性と分布	・地球上にはさまざまなバイオームが見られること、バイオームの分布は、主に気温と降水量によって決まることを例を取り上げ学習します。 ・授業ノート、課題プリント、定期考査	B	A	—	B
	第5章 生態系とその保全	・生態系のなりたち、生態系における物質循環とエネルギーの流れについて学習します。 ・実験ノート、授業ノート、課題プリント、定期考査 ・生態系は絶妙なバランスの上に成り立っていること、人類は生態系に影響を与えていることを学習し、自然環境の保全の重要性を学びます。 ・授業ノート、課題プリント、定期考査	B	B	B	A
			B	A	—	B

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	保健体育	科目	体育	学年 学科 類型	1年 理数科・普通科
単位数	2	教科書	現代高等保健体育 改訂版 (大修館)		
副教材等					

学習の目標	<p>1 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにします。</p> <p>2 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養い、健康・安全・運動についての課題を主体的に解決する意欲や能力を育てます。</p>
学習の方法	<p>・体づくり運動、球技・武道(選択)、ダンス・陸上競技(選択)を通して、自分で課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てます。</p> <p>・体育理論では、座学でスポーツにかかわる生活のあり方について学びます。</p>

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期	体づくり運動	<p>・体ほぐし運動を通して体を動かすことの楽しさや心地よさを味わい、心と体が互いに影響し変化することを学びます。</p> <p>・行動観察</p>	A	B	—	B
	選択(ダンス・陸上競技)	<p>・陸上競技では、記録の向上や競走の楽しさや喜びを味わい、技能を高めます。主に障害走と跳躍を行います。</p> <p>・記録計測</p> <p>・ダンスでは感じを込めて踊ったり、仲間と自由に踊ったりする楽しみや喜びを味わい、表現や踊りを高めて交流や発表ができるようにします。</p> <p>・実技テスト</p>	B	B	A	B
2 学期	体づくり運動	<p>・体力を高める運動を行います。その際、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和の取れた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立てて取り組むようにします。</p> <p>・行動観察</p>	A	B	—	B
	選択2(球技【ソフトボール・バレーボール・テニス】・武道)	<p>・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようにします。</p> <p>・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切に、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。</p> <p>・実技テスト</p>	B	B	A	B
	選択3(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道)	<p>・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようにします。</p> <p>・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切に、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。</p> <p>・実技テスト</p>	B	B	A	B
	体育理論	<p>・スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解できるように学びます。</p> <p>・小テスト</p>	B	B	—	A
3 学期	陸上競技(長距離走)	<p>・長距離を走ることにより自分と向き合い努力すること、粘り強く相手と競り合う強い心を養うことを目標とします。また、ペース配分をしたり、ペースの変化に対応するなど主体的に取り組むことができますようにします。</p> <p>・記録計測</p>	B	B	A	B
	選択(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道)	<p>・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようにします。</p> <p>・実技テスト</p> <p>・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切に、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。</p> <p>・実技テスト</p>	B	B	A	B
	体育理論	<p>・現代のスポーツは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることを理解します。</p> <p>・小テスト</p> <p>・ドーピングはフェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせていることを理解します。</p> <p>・小テスト</p>	B	B	—	A

平成30年度 シラバス

教科	保健体育	科目	保健	学年 学科 類型	1年 理数科・普通科
単位数	1	教科書	現代高等保健体育 改訂版 (大修館)		
副教材等	現代高等保健体育ノート(大修館)				

学習の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 個人および社会生活における健康・安全について理解を深めます。 2 生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身に付けます。
学習の方法	<p>・現代社会は、生活習慣病や薬物、心の問題など健康にかかわる問題が少なくない。また、健康の捉え方や健康のために望まれることも変化してきた。そこで現代の健康問題や新しい健康のあり方について、課題学習などを取り入れながら主体的に学習します。</p>

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期	1 私たちの健康のすがた	・わが国における健康水準の向上、健康問題の変化について学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査 (以下同様)	A	B	-	-
	2 健康のとらえ方	・健康について多様な考え方があることを知り、健康の成り立ちとその要因について学びます。	B	A	-	B
	3 健康と意思決定・行動選択	・意思決定・行動選択とそれに影響を与える要因について学び、正しい意思決定・行動選択を実現する態度を身に付けます。	B	-	-	A
	4 健康に関する環境づくり	・健康づくりを支える環境について学び、生涯を通じてヘルスプロモーションの考え方もとづく環境づくりができるように学習します。	B	-	-	A
	5 生活習慣とその予防	・生活習慣病とはどのようなものか学びその要因となるものを知って、生涯にわたってその予防ができるような生活を考えます。	B	A	-	B
	6 食事と健康	・健康的な食生活の重要性と意義について学び、生涯にわたって健康的な食生活習慣を行うことができるように学習します。	A	B	-	-
	7 運動と健康	・健康から見た運動の意義について学び、健康づくりのための運動習慣を身に付け、生涯にわたって運動が行えるように学習します。	B	-	-	A
	8 休養・睡眠と健康	・健康から見た休養・睡眠の意義を学び、よりよい休養・睡眠のとり方を生涯にわたって実践できる能力を養います。	B	A	-	B
	9 喫煙と健康	・喫煙の科学的な知識とたばこのない社会の実現には、個人および社会全体で取り組むことが重要であることを学習します。	B	A	-	-
2 学期	10 飲酒と健康	・飲酒による短期的影響、長期的影響について理解します。また飲酒の社会的問題について自分たちと関連づけて考えることができるように学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査 (以下同様)	B	A	-	B
	11 薬物乱用と健康	・薬物乱用の心身への健康影響を学習します。また薬物乱用は、個人として絶対におこなってはならないと自覚できるように学習します。	B	-	-	A
	12 現代の感染症	・感染症の流行の背景には、自然環境や社会の変化がかかわっていることを学習します。	B	A	-	B
	13 感染症の予防	・感染症の予防の原則は感染源対策、感染経路対策、感受性者対策があり、一人ひとりの適切な行動が社会全体を守ることにつながることを学習します。	A	B	-	-
	14 性感染症・エイズとその予防	・性感染症およびエイズについて基本的知識を学び、それらの予防対策を個人および社会の両面から学習します。	B	-	-	A
	15 欲求と適応規制	・心の働きが主として大脳によって統一的・調和的に営まれていることや、成長にともない欲求が多様化することについて学習します。	B	A	-	B
	16 心身の相関とストレス	・心身相関では、心の働きが体に対して、逆に体の状態が心に対して、お互いが双方方向の影響を与えることを理解し、科学的なメカニズムを学習します。	A	B	-	-
	17 ストレスへの対処	・心の健康な状態を保持・増進し、自分らしい生活をしていくために、ストレス対処と自己実現を学びます。	B	-	-	A
3 学期	18 心の健康と自己実現	・心の健康な状態と自己実現の歩みは、車の両輪のようなものであることを理解し、長い人生の過程をできる限り具体的にイメージして考えます。 ・課題プリント、ノート、定期考査 (以下同様)	B	-	-	A
	19 交通事故の現状と要因	・交通事故の現状と要因について学習します。また様々な事故に対してこれらの要因を当てはめて考えていきます。	B	A	-	B
	20 交通社会における運転者の資質と責任	・交通事故を防ぐために、運転者として必要な資質と責任があることを学びます。運転者は安全に運転をおこなう責任があることを自覚します。	A	B	-	-
	21 安全な交通社会づくり	・安全のためには、一人ひとりが気をつけるだけでなく、人々の安全を支えるような社会や車両の改善も必要であることを学習します。	A	B	-	-
	22 応急手当の意義とその基本	・応急手当の意義を学び、けが人や急病者を発見した際に自分たちにできることや、手当ての基本的な手順を把握します。	A	-	-	B
	23 心肺蘇生法	・できる限り正確な心配蘇生法の習得を目指し、同時に心配蘇生法の原理を学習します。	A	-	-	B
	24 日常的な応急手当	・応急処置について適切な判断と応急手当の方法を身に付け、熱中症などの予防にも心がけることの必要性を学習します。	B	A	-	B

(備考) 定期考査は、学期末に行う。

平成30年度 シラバス

教科	芸術	科目	音楽 I	学年 学科 類型	1年 理数科・普通科
単位数	2	教科書	MOUSA1 (教育芸術社)		
副教材等					

学習の目標	1 音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を養い、豊かな感性を身に付け、音楽文化について理解を深めます。 2 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受して歌唱、演奏をします。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱では、曲の背景や歌詞の内容と関わらせて、イメージを持って歌います。 ・器楽では、篠笛とクラシックギターを使い、楽器や音色の特徴を生かして演奏します。 ・鑑賞では、時代背景や作曲家の人生を学びながら楽曲について考えます。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期	歌唱 ・校歌、イタリア歌曲、ドイツ歌曲	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や楽曲の背景を理解し、イメージを持って歌います。 ・発音を学びながら諸外国の文化を理解し、表現を工夫して歌います。 ・練習への取組方、実技テスト 	B	A	B	-
	和楽器 ・篠笛	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統音楽に触れ、歴史的背景や特徴を理解します。 ・篠笛の基本的奏法を習得し、表現を工夫して演奏します。 ・練習への取組方、実技テスト 	B	B	A	-
	鑑賞 ・バロック、古典派、ロマン派	<ul style="list-style-type: none"> ・声や楽器の音色の特徴と表現上の効果を感じ取りながら鑑賞します。 ・楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲家の特徴を理解して鑑賞します。 ・ワークシート 	B	-	-	A
	西洋音楽史・楽典	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な時代の音楽や作曲家の特徴と、文化的・歴史的背景との関わりについて学びます。 ・楽譜の書き方や、読み方について学びます。 ・ワークシート 	A	-	B	-
2 学期	歌唱 ・日本歌曲、ミュージカルナンバー	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や楽曲の背景を理解し、イメージを持って歌います。 ・楽曲が歌われる場面をイメージし、表現を工夫して歌います。 ・練習への取組方、実技テスト 	B	A	B	-
	鑑賞 ・ミュージカル	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲の文化的・歴史的背景を理解し、表現の特徴を理解して鑑賞します。 ・鑑賞プリント 	B	-	-	A
	器楽 ・クラシック・ギター	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の特徴を理解して基本的奏法を習得します。 ・楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏します。 ・練習への取組方、実技テスト 	B	B	A	-
3 学期	歌唱 ・オペラのアリア	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や楽曲の背景を理解し、イメージを持って歌います。 ・楽曲が歌われる場面をイメージし、表現を工夫して歌います。 ・練習への取組方 	B	A	B	-
	器楽 ・クラシック・ギター	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の奏法を理解し、弾き語りをします。 ・楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏します。 ・練習への取組方、実技テスト 	B	B	A	-

- (備考) 1 定期考査は、期末に実技試験を行う。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	芸術	科目	美術 I	学年 学科 類型	1年 理数科・普通科
単位数	2	教科書	美術 1 (光村図書)		
副教材等					

学習の目標	<p>1 様々な表現活動を通して、自らの考えや気持ちを表現する楽しさを味わうとともに、基礎的な知識や技術を身に付けます。</p> <p>2 様々な作品を見たり批評し合ったりすることで、幅広い見方のできる鑑賞能力も伸ばします。</p>
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての表現活動において、主にアクリル絵の具を使用します。 ・絵画、デザイン、立体造形、鑑賞、それぞれの学習項目の中に、美術を学習する上で基礎となる大切な内容が入っています。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期	1 美術の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆削りを通して、道具の扱いや管理など、美術における基礎的な技能を身に付けます。 ・鉛筆による9段階のグラデーションを作ることで、制作活動の基礎となる鉛筆の扱いについて学びます。 ・作品、感想文 	B	-	A	-
	2 身近なものを描く (鉛筆デッサン)	<ul style="list-style-type: none"> ・手のデッサンを通して線の重ね方や明暗の階調の付け方など鉛筆デッサンの基礎的な描法について学びます。 ・身近なものをよく見て描くことで、観察力を養うと共に、物の形を正確に描写する技術を身に付けます。 ・作品、感想文 	B	-	A	B
	3 想像してあらわす	<ul style="list-style-type: none"> ・連想した言葉を組み合わせ、ありえないものや状況を想像します。 ・より面白い配置を考えることで構成力を身に付けるとともに、アクリル絵の具の使い方、特性を学びます。 ・アイデアスケッチ、作品、感想文 	B	B	A	B
2 学期	4 版の表現 (アートグラス)	<ul style="list-style-type: none"> ・アートグラスの制作と鑑賞を通して、ニードルによる彫りの表現と絵の具による色彩表現のおもしろさを味わいます。 ・色の三原色についての学習で、色彩について科学的理解を深めます。 ・作品、感想文 	B	A	B	B
	5 自己を描く	<ul style="list-style-type: none"> ・自画像の制作を通して観察力を養うとともに、絵画の基本的な描法を学びます。 ・ほかの生徒の作品を鑑賞することで、表現の違いや発想の面白さ、自己理解、他者理解を深めます。 ・作品、感想文 	B	A	B	B
	6 映像が作り出す空間	<ul style="list-style-type: none"> ・映像メディア表現分野の芸術作品を鑑賞することで、新しい芸術表現の世界を味わいます。 ・絵画や彫刻などとは違う芸術表現のあり方について理解を深めます。 ・発表、感想文 	B	-	-	A
3 学期	7 首ふり人形を作る	<ul style="list-style-type: none"> ・首ふり人形の制作を通して、強調や省略して表現する面白さを学びます。 ・立体作品を作ることで、平面作品と違う制作方法、鑑賞方法について理解を深めます。 ・作品、感想文 	B	A	B	B
	8 美術の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ・美術作品の幅広い鑑賞を通して、美術作品の良さや面白さについて学びます。 ・日本美術や西洋美術の歴史について学ぶと共に、アジアや他の国々の多様な芸術について理解を深めます。 ・感想文 	A	-	-	B

(備考) ・美術教室の道具類は美術選択者全員が使用します。丁寧に扱い、実習終了後の整理整頓を心掛けてください。

平成30年度 シラバス

教科	芸術	科目	書道 I	学年・学科・類型	1年 理数科・普通科
単位数	2	教科書	書 I (教育図書)		
副教材					

学習の目標	1 様々な書体を勉強し、古典の美に触れ、感性を磨きます。 2 古典を臨書し、様々な書体を書くための技術を身に付けます。 3 日常生活に即した、整った字の書き方を学びます。
学習の方法	・古典の臨書を通して、観察力や技術を学び、集中力を養います。 ・書の歴史を学び、作品への理解を深めます。 ・古典で学習した内容を、創作活動に活用します。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期	1 楷書	<ul style="list-style-type: none"> 書道用具や書道史の基本的なことを学習して、書道学習への心構えを身に付けます。 用筆法や字形の組み方を学習し、作品によって異なる書き方を学びます。 臨書への取り組み、作品 	B	A	-	B
	2 行書	<ul style="list-style-type: none"> 行書体の字の崩し方の原理を学び、流動する用筆美を味わいます。 時代によって異なる書風を鑑賞し、臨書に生かします。 臨書への取り組み、作品 	B	A	-	B
2 学期	2 行書	<ul style="list-style-type: none"> 日本で発展した書の芸術美を味わいます。 臨書への取り組み、作品 	B	A	-	B
	3 隸書	<ul style="list-style-type: none"> 古典の用筆法を学び、簡略美を味わいます。 臨書への取り組み、作品 	B	A	-	B
	4 篆刻	<ul style="list-style-type: none"> 篆刻の方法を学び、それぞれの姓名を印材に刻します。 取り組み、作品 	B	-	A	B
	5 創作 (漢字)	<ul style="list-style-type: none"> 古典の臨書で学んだ字形や用筆法を生かして、漢字の書の創作をします。 応用力、作品 	B	-	A	B
3 学期	6 仮名	<ul style="list-style-type: none"> 仮名の基本用筆を学び、平仮名の書き方などを学びます。 平安期の和歌を学習し、いろいろな散らし書きを学びます。 臨書への取り組み、作品 	B	A	-	B
	7 創作 (漢字仮名交じり)	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容を生かして、漢字仮名交じりの書を創作します。 応用力、作品 	B	-	A	B

(備考) 書道の道具類は、丁寧に扱い、後片付けもしっかり行ってください。

平成30年度 シラバス

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語 I	学年 学科 類型	1年 理数科・普通科
単位数	4	教科書	Perspective English Communication I NEW EDITION (第一学習社)		
副教材等	総合英語 FACTBOOK English Grammar Standard (桐原書店)、総合英語 FACTBOOK これからの英文法 (桐原書店)、チャックで英単語 (三省堂)				

学習の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 英語を理解し英語で表現しようとする、コミュニケーションへの積極的な態度を身に付けます。 2 教科書等の英語を読んだり聞いたりしたことに対する自分の感想を3文以上の英文で表現できる理解力と表現力を習得します。 3 基本的な構文や文法、語彙を習得します。GTEC400点以上を目標とします。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業は予習をしてきていることが前提になります。予習ができていないと、授業中の言語活動に参加できなくなりますので、自分の力でやる習慣を身に付けましょう。 ・英語を読んだり聞いたりしたときや自分の意見を表現するときに、分からないことがあれば、辞書や副教材を利用して、自分で調べてみるようにしましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	Lesson 1 Flowers Across the Ocean	<ul style="list-style-type: none"> ・全米桜祭りが開催されるようになった経緯を読み取ります。 ・基本時制、助動詞、to不定詞(名詞用法)を理解し、文を作ることができますようにします。 ・小テスト、定期考査 	B	B	A	B
	Lesson 2 We Can All Make a Difference	<ul style="list-style-type: none"> ・Ryan's Well Foundationができたきっかけと現在の活動について考えます。 ・S+V+O(疑問詞節)、現在完了形、to不定詞(形容詞・副詞用法)、動名詞を理解し、文を作ります。 ・小テスト、定期考査 	B	A	B	B
1 学期 末	Lesson 3 Traditional Japanese Cuisine	<ul style="list-style-type: none"> ・和食という日本文化の保存と継承について考えます。 ・現在完了進行形、分詞の形容詞用法、関係代名詞を理解し、文を作ることができますようにします。 ・小テスト、定期考査 	B	B	B	A
	Lesson 4 "A Piece of Cloth"	<ul style="list-style-type: none"> ・三宅氏の創作するファッションが世界に与える影響について考えます。 ・S+V(be動詞)+C、S+V+O+O、過去完了、助動詞を伴う受動態を理解し、文を作ることができますようにします。 ・小テスト、定期考査 	B	B	A	B
2 学期 中間	Lesson 5 Malala Continues to Speak Out	<ul style="list-style-type: none"> ・マララ・ユサフザイ氏のスピーチをもとに、女性や子どもの人権・教育について考えます。 ・完了形(受動態)、It is 形容詞 that~, S+V(知覚・使役動詞)+O+C、関係副詞について理解します。 ・小テスト、定期考査 	B	A	B	B
	Lesson 6 Stonehenge - The Facts and Mysteries	<ul style="list-style-type: none"> ・ストーンヘンジがどのようなものであり、どのような役割を担っていたのかを読み取ります。 ・S+V+to不定詞、分詞構文、関係詞の非制限用法を理解し、文を作ることができますようにします。 ・小テスト、定期考査 	B	B	A	B
2 学期 末	Lesson 7 One Team, One Country	<ul style="list-style-type: none"> ・南アフリカのラグビーワールドカップが果たした役割を通して、スポーツと社会の関わりを考えます。 ・It is ~for A to ..., S+V+it +C+to ~、仮定法過去を理解します。 ・小テスト、定期考査 	B	B	A	B
	Lesson 8 To Protect or To Develop?	<ul style="list-style-type: none"> ・増え続ける世界遺産の現状と、登録抹消の事例・背景を読み取ります。 ・It seems that ~、仮定法過去完了、It is ~that ... (強調構文)を理解します。 ・小テスト、定期考査 	B	B	B	A
3 学期	Lesson 9 Life in a Jar	<ul style="list-style-type: none"> ・イレーナ・センドラーの戦中の活躍や、アメリカの学生らによる探究活動を読み取り、平和や人権について考えます。 ・S+V+C(分詞)、S+V(知覚動詞)+O+C(分詞)、助動詞+have+過去分詞を理解します。 ・小テスト、定期考査 	B	A	B	B
	A Test of True Love	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の文法事項を用いながら、長めの物語文を読んでいます。 ・出来事の推移、各場面における登場人物の心理などについて読み取ります。 ・小テスト、定期考査 	B	B	B	A
	Reading Skill 1~5	<ul style="list-style-type: none"> ・英文を読み、連結表現を理解し、対比・例示の構図を把握するようにします。 ・英文を読み、主題文と支持文がどれであるか把握し、パラグラフ全体の概要をつかむようにします。 ・小テスト、定期考査 	B	B	A	B

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	外国語	科目	英語表現 I	学年 学科 類型	1年 理数科・普通科
単位数	2	教科書	Empower English Expression I Mastery Course (桐原書店)		
副教材等	総合英語FACTBOOKこれからの英文法(桐原書店), 総合英語FACTBOOK English Grammar Standard(桐原書店), クラウン チャンクで英単語Standard(三省堂)				

学習の目標	1 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けます。 2 事実や意見を多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養います。
学習の方法	・予習では、重要例文を理解した上で練習問題を解きます。授業では、教科書に出てくる表現や文法事項を、補充問題やペアワーク・グループワークにより活用できるようにします。 ・自分の意見や考えを書いたり発表したりする課題が出ることがありますので、忘れずに準備をしてください。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	Part I From Grammar to Communication Unit 1 I' ll introduce my school Unit 2 Let' s write our profiles! Unit 3 Let' s talk about our favorite things!	・文の構成、時制、完了形について学習します。 ・自分の学校を英語で紹介します。 ・自分や友人を英語で紹介します。 ・自分の好きなことについて英語で表現します。 ・小テスト、定期考査	B	A	—	B
	Unit 4 When in Rome, do as the Romans do Unit 5 Made in Japan Unit 6 Planning the perfect vacation	・助動詞、受動態、不定詞について学習します。 ・国や地域による習慣の違いを英語で表現します。 ・日本で発明されたものを英語で表現します。 ・旅行の計画を英語で作ります。 ・小テスト、定期考査	B	B	—	A
2 学期 中間	Unit 7 How to spend your holidays Unit 8 Good manners and bad manners Unit 9 Let' s learn about other countries! Unit 10 Let' s introduce a World Heritage Site!	・動名詞、分詞、比較、関係詞について学習します。 ・余暇の過ごし方を英語で表現します。 ・良いマナーと悪いマナーについて英語で表現します。 ・日本と外国を比較し、英語で表現します。 ・世界遺産を英語で紹介します。 ・小テスト、定期考査	B	B	—	A
	Unit 11 How can we become more foreignerfriendly? Unit 12 What is your opinion? Unit 13 Robots are our friends	・仮定法、否定、名詞構文、無生物主語について学習します。 ・日本を外国人が旅行しやすい国にするための提案を英語で話し合い、発表を行います。 ・インターネットやSNSの長所と短所を英語で表現します。 ・現在や将来のロボットを英語で表現します。 ・小テスト、定期考査	B	B	—	A
3 学期	Part II From Sentence to Paragraph Unit 1 How about sightseeing in Chiba?	・例を表す語句を学習し、例を示して説明する英文を書き、発表します。 ・小テスト、定期考査	B	A	—	B
	Unit 2 Then and now Unit 3 How to make tonkatsu	・対比、逆接を示す語句を学習し、2つのものを対比して説明する英文を書き、発表します。 ・順序を示す語句を学習し、順序を示して説明する英文を書き、発表します。 ・小テスト、定期考査	B	A	—	B
	Unit 4 The Youngest Nobel Peace Prize winner Unit 5 How about writing to a friend in English?	・原因(理由)や結果を示して説明する英文を書き、発表します。 ・さまざまなつなぎ言葉を学習し、パラグラフの構成を理解し、パラグラフを書きます。 ・小テスト	B	A	—	B

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	家庭	科目	家庭基礎	学年 学科 類型	1年 理数科・普通科
単位数	2	教科書	新家庭基礎 主体的に人生をつくる (大修館)		
副教材等	平成30年度 家庭科ノート・調理ノート基礎編 (愛媛県家庭科教育研究会)				

学習の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 人の一生と家族・家庭、福祉、衣食住、消費生活に関する基礎的基本的な知識と技術を習得します。 2 家庭や地域の生活課題を主体的に解決する力を習得します。 3 生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を養います。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活を振り返りながら興味・関心を持って積極的に学習に参加し、実験・実習などに意欲的に取り組み、生きるために必要に知識や技術を身に付けていきます。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	1章 人生をみつめる	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の課題を取り扱い、その中でアイデンティティを確立することの重要性を学習します。 ・ノート、定期考査 	B	A	—	B
		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の特徴や生活、高齢社会の現状や課題について取り扱います。 ・社会保険制度について取り扱い、ノーマライゼーション実現のため、自分たちがどう考え、取り組んでいけばよいか考えます。 ・ノート、定期考査 	B	B	B	A
1 学期 末	ホームプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の家庭生活上の課題を見つけ、解決のための方法を考え、計画を立てて実行し解決できるよう学習します。 ・ホームプロジェクト、発表 	B	B	A	B
2 学期 中間	7章 衣生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・日常多く用いられる被服材料の特徴について取り扱い、用途や目的にあった被服材料の選択や、材料に合った被服管理を学習します。 ・ノート、定期考査、課題プリント 	B	B	B	A
		<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期は人間形成の基礎づくりの時期であることを学び、親の働きかけの重要性について学習します。 ・ノート、定期考査、課題プリント 	B	B	B	A
2 学期 末	6章 食生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・食物の役割を認識し、自分や家族の食生活に関心を持ち、調理実習・実験などに科学的な視点から学習します。 ・ノート、定期考査、調理実習 	B	B	B	A
3 学期	8章 住生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・快適で安全な室内環境にするため、どのような工夫が必要かを考え、自分の住生活を快適にするよう学習します。 ・ノート、定期考査、課題プリント 	B	B	B	A
		<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活の現状と課題、消費者の権利と責任について取り扱い、自ら考え行動し、経済の管理や計画について学習します。 ・ノート、定期考査 	B	B	B	A
		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の価値観に沿って、自分らしいライフスタイルを描きながら人生の時間軸にそって生活設計を立てます。 ・ノート 	B	A	B	B

(備考) 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。

平成30年度 シラバス

教科	情報	科目	社会と情報	学年 学科 類型	1年 理数科・普通科
単位数	1	教科書	新・社会と情報 (日本文教出版)		
副教材等	新・社会と情報 情報のノート (日本文教出版)				

学習の目標	1 情報に関する知識を得て、情報社会に積極的に参画する態度を育てます。 2 メディアの特性をとらえて情報を処理し正しく判断し有効に発信する力を身に付けます。 3 ICTを活用し、他者と協働して問題を解決する力を身に付けます。
学習の方法	・情報社会を生きるのに必要な知識や技術を実習を通して、実践的かつ総合的に学びます。 ・情報モラルの視点に立ち、よりよい社会を創造する能力と実践力を身に付けます。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	序章 「社会と情報」とは	<ul style="list-style-type: none"> 「社会と情報」の学習に入る前に、互いの考えを出し合い、情報社会のあり方について学習します。 アンケート、学習ノート 	A	B	—	B
	第1章 情報社会に生きるわたしたち	<ul style="list-style-type: none"> 情報社会における情報の役割とメディアの役割と特性について学習します。 定期考査、学習ノート、実習作品 	B	B	B	A
1 学期 末	サイバー犯罪とその対策	<ul style="list-style-type: none"> サイバー犯罪の種類と特性と、対策方法について学習します。 定期考査、学習ノート 	B	B	—	A
	知的財産とその保護	<ul style="list-style-type: none"> 情報社会を支える法律の種類、成り立ち、特徴と運用について学習します。 定期考査、学習ノート、課題プリント 	B	A	B	B
2 学期 中間	第2章 情報社会とデジタル技術	<ul style="list-style-type: none"> アナログとデジタルの特性とコンピュータでデータを扱う方法を学習します。 定期考査、学習ノート、実習作品 	B	B	B	A
	音のデジタル化	<ul style="list-style-type: none"> 音のデジタル化を通してAD変換の仕組みについて学習します。 定期考査、学習ノート 	B	B	—	A
2 学期 末	デジタルカメラのしくみ	<ul style="list-style-type: none"> 画像のファイル形式を理解し、目的に合った適切な形式を選ぶことができるように学習します。 定期考査、学習ノート、実習作品 	B	B	B	A
	インターネットのしくみ	<ul style="list-style-type: none"> 情報機器を利用したコミュニケーションの特性と方法について学習します。 定期考査、実習作品、学習ノート 	B	B	A	B
3 学期	第3章 情報社会と情報システム	<ul style="list-style-type: none"> 情報システムの種類と役割、特徴と、情報公開のあり方について学習します。 定期考査、実習作品、学習ノート 	B	B	B	A
	データベースとビッグデータ	<ul style="list-style-type: none"> ビックデータの活用を通して、社会がどのように変化するかを学習します。 定期考査、学習ノート 	B	B	—	A
	情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> 情報社会が抱えるさまざまな問題と、誰もが暮らしやすい情報社会のあり方と未来像について学習します。 定期考査、実習作品、学習ノート 	B	A	B	B

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。

平成30年度 シラバス

教科	SS	科目	RSI	学年・学科・類型	1年 理数科・普通科
単位数	2	教科書			
副教材	プリント				

学習の目標	<p>1 地域の自然環境や文化・歴史、産業や医療・福祉などを主題とした課題研究に取り組み、資料の収集、現地実習、実験・観察などの体験的な活動を通して得られた情報を分析・考察しながら、科学的に探究する能力や態度を身に付けます。</p> <p>2 課題研究の成果を、論文やスライド、ポスターにまとめ、プレゼンテーションを行う経験を通して、情報を発信するための技能を高め、豊かな表現力を醸成します。</p>
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や身近にある素材を主題にして課題研究を進めます。担当教員からの助言やインターネット等から得た情報を参考にしながら、主題の決定から調査方法、成果報告まで、生徒が主体となって探究活動を展開します。 ・地域や身近にある素材を課題研究の対象として捉えて、知的好奇心を持って探究できるよう、また、情報をうまく伝えるためのスキルを身に付けることができるよう、出張講義や発表会の機会が多く設定されています。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期	SSHオリエンテーション 昨年度の課題研究の紹介 出張講義 総合科学講座 (四国西予ジオパーク) 基礎理工講座 (大学数学教授) 生命環境講座 (愛媛県農林水産研究所) 「研究の取組方」	<ul style="list-style-type: none"> ・SSHオリエンテーションの中で、「理科課題研究ガイドブック～どうやって進めるか、どうやってまとめるか～」(小泉治彦著、千葉大学先進科学センター)を用いて、課題研究の取り組み方についての説明を行います。 ・課題研究を進めるという具体的なイメージを持たせるために、昨年度の課題研究のうち、優れた作品の紹介を行います。 ・地域や身近にある素材を課題研究の主題として取り上げるに当たり、生徒自身にとって見聞を広げる機会となり、その内容が主題の決定に役立たせることができるように工夫します。 ・レポートの内容が改善・充実するように、その内容について評価・助言を行います。 ・レポート、発表、行動の観察 	A	B	—	B
	講座分け説明会、講座希望調査 研究テーマ設定、文献検索 研究計画、課題研究	<ul style="list-style-type: none"> ・地域環境講座、地域科学史講座、地域医療・福祉講座、地域産業講座について、各講座において具体的な研究テーマを例示しながら、講座の希望調査を行います。 ・課題研究を行う班の編成を行い、研究テーマを決めます。ただし、インターネット等を活用して、他校での課題研究や様々な文献について調べた上で、研究テーマを決定することが望ましいと考えます。 ・2学期から3学期にかけての研究計画を作成します。 ・レポート、行動の観察 	B	A	B	B
2 学期	課題研究	<ul style="list-style-type: none"> ・各班が設定した研究テーマについて、研究の方法から構想し、現地調査や実験等によるデータの収集とその分析・考察、研究のまとめを行います。 ・レポート、行動の観察 	B	B	A	B
	情報講座	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションを効果的に行うために、論文やスライドの作成において注意すべき事項や知っておきたいスキルについて説明します。 ・レポート、行動の観察、論文及びプレゼンテーションに用いるスライド 	B	B	B	A
3 学期	情報講座	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションを効果的に行うために、論文やスライドの作成において注意すべき事項や知っておきたいスキルについて説明します。 ・レポート、行動の観察、論文及びプレゼンテーションに用いるスライド 	B	B	B	A
	講座内発表会、まとめ、自己評価 SSH研究成果報告会準備 小論文講演会	<ul style="list-style-type: none"> ・講座内で発表する機会があります。そこで、自己評価等を行います。 ・SSH研究成果報告会に出場する課題研究を選考します。出場する作品については、推敲を重ねて完成度を高めていきます。 ・小論文講演会での内容を参考に、課題研究の論文等の改善を図ります。 ・レポート、行動の観察、論文及びプレゼンテーションに用いるスライド 	B	A	B	B

(備考) 定期考査は実施しない。